

BCAO 関西地域勉強会 第 36 回地域勉強会 議事録

1. 概要

(1) 日時：2009 年 10 月 21 日 (水) 18:40~20:30

(2) 場所：住友電気工業株式会社 402 号会議室

〒541-0041 大阪市中央区北浜 4-5-33 (住友ビル 4 階)

(3) 座長：川口 均 (船井電機)

(4) 書記：廣本英隆 (神戸大学)

(5) 出席者：21名 (順不同、敬称略)

日下(住友電工) 萩原(大林組) 前田(富士火災) 加瀬(大阪科学技術センターATAC)
川口 (船井電機) 寺西 (ストアジャパン) 西濱 (西濱防災ネット技術) 藤本 (竹中工務店)
久保田 (銀泉リスクソリューションズ) 佐原 (鈴与) 速水 (大阪地下街)
松本(日本工営)、久保田 (大和ハウス工業) 大西 (神戸大学) 大館(ユー・エス・ジェイ)、
大森(ユー・エス・ジェイ)、廣本 (神戸大学)

オブザーバー：小山(大阪科学技術センターATAC)、北室(近畿日本鉄道)、池田 (積水ハウス)
細坪 (BCAO 事務局)

(6) 議題： a. 「BCM 普及率アンケート集計結果の報告」(報告者：廣本 神戸大学)

b. 「関西新型インフルエンザ・アンケート結果の議論のつづき」

2. 内容

議題 a: 「BCM 普及率アンケート集計結果の報告」

- ・ 8 月に実施した「BCM 普及率アンケート」の回答集計結果の報告が行われた。
- ・ BCAO 関西地域勉強会に属する 45 組織中、15 組織から回答が得られた。(回収率 約 33%)
- ・ 回答した 15 組織の全てにおいて BCM に関する何らかの文書が作成されていると報告された。
- ・ 文書記載事項について、影響度評価などの項目を未作成と回答する組織が多いと報告された。
- ・ 影響度評価については、「経営判断としての RTO の設定」「事業継続対応策の効果と費用の検討」など一部の項目が未実施となっている組織が多いと報告された。
- ・ 回答した半数以上の組織で「地震」「新型インフルエンザ」「IT 障害」を想定リスクに挙げている状況が明らかとなった。

議題 b: 「関西新型インフルエンザ・アンケート結果の議論のつづき」

- ・ 8 月の地域勉強会時に議論された「新型インフルエンザパンデミック時における安否確認システムの活用」などについて、引き続き意見交換が行われた。
- ・ 「地震発生時には安否確認システムを活用するが、今回の新型インフルエンザ流行時には罹患状況の報告・管理は自主申告に任せた」など各社の事例について意見交換が行われた。
- ・ 罹患状況の社内情報共有について、「個人が特定されない形での社内イントラによる情報共有を行っている」など各社の取り組みについて意見交換が行われた。

3. 次回の関西支部会合・勉強会

日時：2009 年 11 月 18 日 18:00~20:30

場所：大阪ガス株式会社

担当：支部会合 座長：前田 (富士火災) 書記：角 (日本建築総合試験所)

勉強会 座長：廣本（神戸大学） 書記：未定